

## 埼玉県 寄居町議会

### (事績2) 住民に開かれた議会

[タイトル]

町村議会広報コンクール日本一の「議会だより」を強力なツールとし、住民自治への意識改革を推進「脱・無投票」への4年間の挑戦

[取り組み要旨]

4年前(2019)の町議会議員選挙は町政施行以来初めての「無投票」。有権者の審判を受けずに当選が決まったという現実を初めて経験した我々は、当選はしたものの、このままでは議会に対する町民の関心や信頼が薄れていくばかりとの危惧がありました。議員の「なり手不足」を言い訳にせず、次の選挙まで「議会」ができることは何か? 「議会だより」という自分たちの強み(ツール)を活かした積極的なアプローチで「脱・無投票」を達成しました。

[本文] 【議会だよりで、次世代への呼びかけ】

当町の議会だよりは、「読まれない議会だよりに出す意味なし」との編集方針を掲げ、全国町村議会広報コンクールで2017年から日本一の評価(最優秀賞5回、第2位1回)をいただいています。顔写真・名前・コメントの3点セットの了解を得ながら、毎回新しい町民にアプローチするという高いハードルを掲げ、コツコツと積み上げてきたのは、2018年にマニフェスト大賞特別賞を受賞した後も継続してきた「聴く動く」の愚直な実践です。2015年から町民登場のカウントを始めた「KOEMETAR・声メーター」には直近号(No.109)で825人。約32,000人の人口の町で約2.5%の町民がこの議会だよりに登場したことになります。※「無投票でいいんですか?」をテーマとした93号からは、「18歳選挙権」を意識し、小学生・中学生を対象とした「もうすぐ選挙権」コーナーを設け、学校やご家庭へ出向いた取材はこの4年間で40回107人。さらに40代までを合わせると133回221人の若者世代の声を広聴し掲載しました。議会から次世代への呼びかけが住民自治への根本的な意識改革となることを信じて続けた実践です。この呼びかけに対して、議会だよりを手にする機会がほぼ無いという小中学生や、興味を持たなかった若者世代が、自分が載ったことで新たな「読み手」となったことは明らかで、またさらに※93号「無投票でいいんですか?」が町内小学校の公民の授業の教材に活用されたり、他市の中学生から政治学習の教材にと取材依頼を受けるなど、「主権者教育」の側面でも大きな波動がありました。

## 【議会だよりは、住民自治の窓口】

### ・議員の「手応え」

取材は平均年齢 65.8 歳の議員で敢行。若い世代への取材先も議員自らが探します。3 点セット（顔写真・名前・コメント）の了解まで得るには断られることも多々あり苦勞しますが、4 年間 16 回発行される議会だよりの編集の度に編集委員だけでなく議会全体で取り組むこともあり、この実践が自ずと議員力アップに繋がっています。またその声を※「議会発政策サイクル」の議会から執行への提言の中にも反映させます。直接広聴した議員にとっても、自身の議員活動としての手応えもあり、本来の議員活動はこの実践の連続であるとの認識が生まれています。また町民からも、多くの町民登場がなされたことで「やっと自分の所に来たか」「自分も意見を言いたい」との声もあり、議会だよりが世代に依らず「住民自治の窓口」であるとの互いの認識も深まっています。

### ・議会だよりのポテンシャル

高齢化率 34.3%の町にとっては、まだまだ紙の議会だよりが基本になりますが、そのポテンシャルを最大限に活かしています。多世代を紙の議会だよりに引き込む窓口として、議員の手作り動画や他サイトへの情報補完のための QR コードを多用。予算・決算の財政状況は QR コードで「行政広報」を見てもらい、それに対する議会（議員）の分析や町民コメントは「議会だより」で見るという棲み分けもしています。

また、その時々の特集を組み、「議会の視点」や「全議員で考えるシリーズ」等で毎回全議員からの発信を掲載。チーム議会としての動きや議員活動の見える化にも寄与しています。

## 【議会だよりで強力推進！「脱・無投票」】

### ・※定数・報酬「安易な変更はしない」との結論を報告（104号「議論」）

定数（16）報酬（23万2千円）について、4年間、検討してきた流れと一緒に議会として「変更なし」の結論に至るまでを報告。

・※選挙直前号では全ページを通して立候補のための具体的な情報を掲載。（107号「Go選挙」）

### ・結果

令和5年度寄居町議会議員選挙は20代2人、40代2人を含む新人8人が立候補、定数16に対して現職、元職あわせ21人の立候補という激戦に。結果、現職11名と20代1名を含む新人5名が当選。20代の当選は実に40年ぶりとなりました。

議会だより109号最新号では、投票率が50%を切った今回の結果を踏まえ、早速、新人議

員を含めた議員全員で10代から80代まで266人を総力取材。「4年後の一票」に向けたスタートをきりました。

※（109号最新号のねらい）

・外側くるみ表には最年少と最年長の議員の顔でインパクトを。裏面には16人の議員全員のマニフェストを掲載。QRコードで議員の動画を貼り、（動く話す）議員の見える化で、議員個人も知ってもらおう。

・エヴァンゲリオン風の表紙にはアンケートの自由記載欄の町民のリアルな声を掲載。266人アンケート結果をHPに貼り、町民と課題を共有。11月に予定している議会報告会・意見交換会で対話のテーマとしていく。